

いろいろな国の 遊びを知ろう

小学校2年生

I アクティビティーについて

ねらい

いろいろな国の遊びの体験を通して、日本の遊びと似ていても、遊び方やルールが違う遊びがあることなど、様々な文化の共通点と相違点に気づき、他の文化をも尊重しようとする態度を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎多様性の尊重・共生
- 共感と連帯感
- コミュニケーション能力

設定の理由

この時期の児童は、様々な遊びを知り、その楽しさに気づいているが、他の国々の遊びにふれ、実際に体験することは少ない。

そこで、身近にいる外国の人々から、その国の遊びについて教わり、体験する活動を通して、日本の遊びとの共通点や相違点に気づかせ、多様性を認め合い、受け入れ合って、共に生きようとする態度の基礎を育てたい。

アクティビティーの概要 (5時間扱い)

活動1 外国の4種類の遊びを知り、体験する。 1時間
・「じゃんけん」(シンガポール)、「だるまさんがころんだ」(中国)
「手袋おとし」(ケニア)、「けんば遊び」(ブラジル)



活動2 遊び体験をもとに、作文メモを作成し、作文を書く。 2時間



活動3 グループで作文発表会を開く。 1時間



活動4 A L Tと一緒に、外国の遊びを体験する。 1時間

アクティビティの実際

- 準備するもの
 - 世界地図、遊びをする国の旗、手袋、けんば遊びの場所
 - その国の風景や子どもたちの遊ぶ様子の写真
- アクティビティの進め方

活動1 遊び体験

- ① 日本になじみのある外国の4種類の遊びを紹介する。
 - 「じゃんけん」(シンガポール)
 - 「だるまさんがころんだ」(中国)
 - 「ハンカチ(手袋)おとし」(ケニア)
 - 「けんば遊び」(ブラジル)
 - ・世界地図や該当する国旗を用意し、一緒に紹介する。
- ② 4種類の遊びの方法を説明する。
 - ・「じゃんけん」「だるまさんがころんだ」「ハンカチ(手袋)おとし」「けんば遊び」の4つのコーナーを設置する。
 - ・4グループを編成し、1つの遊びを7分ずつローテーションでまわるようにする。
- ③ 4種類の外国の遊びを体験させる。
- ④ 体験したことをふり返る。
 - ＜ふり返りの留意点と発問例＞
 - 体験した感想を話し合い、作文メモの作成に結びつける。

発問例

外国の遊びをして、どんな感じがしましたか？

発問例

日本の遊びとどんなところが似ていましたか？どんなところが違っていましたか？

発問例

どうして違うのか、理由を想像してみましょう。

活動2 作文を書く

- ① 遊び体験をふり返り、作文メモを作成し、作文を書かせる。
 - ＜作文を書く視点＞
 - ア 遊び方
 - イ 日本の遊びと似ているところ
 - ウ 日本の遊びと違うところ
 - エ 遊んだときの自分の気持ち

活動3 作文発表会

- ① グループで作文の発表会をする。

活動4 遊び体験

- ① A L Tと一緒に外国の遊びを体験する。
 ・ A L Tの出身国の伝承遊びなどを教えてもらい、クラス全員で体験する。
 ・ A L Tからも、遊びに対する思いを話してもらうようにする。

＜ふり返りの留意点と発問例＞

○ A L Tとかかわりながら遊び体験を通して、外国の人も、自分たちの生活を楽しむために、工夫された遊びがあることを知る。

発問例

A L Tの〇〇さんと一緒に遊んで、感じたことを発表しましょう。

発問例

日本の遊びと似ていたり、違っていたりしたところがありましたか。

アクティビティを指導するポイント

- ◇ 日本の遊びに親しんでいる子どもたちは、日本の遊びがよいと感じたり、他の国の遊びの方法が分からなかったりすることが考えられる。遊びの内容のよさを比較するのではなく、それぞれの国の遊びの工夫を感じ取って作文が書けるように、指導助言をする。
- ◇ 外部指導者として、A L Tや家庭、地域の人材を活用することができるが、その場合、本単元のねらいを押さえ、児童に話す内容、質問に対する返答など、十分に事前打ち合わせをする必要がある。

Ⅱ 授業展開例

～小学校2学年「国語」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	1 日本になじみのある4種類の外国の遊びについて話を聞く。	○世界地図や国旗を用意し、該当の国の位置や国旗を確認しながら、遊びの名前や遊び方について話す。
	世 界 の 国 の 楽 し い 遊 び を し よ う ！	
	2 4種類の外国の遊びのルールや遊び方を知る。	○4つのグループで、ローテーションでまわることを知らせる。(1つあたり7分)
	3 4種類の外国の遊びを体験する。	○4つの遊びのコーナーを設置しておく。 ○日本の遊びと比べながら遊ぶように助言する。
「じゃんけん」(シンガポール) 「だるまさんがころんだ」(中国) 「ハンカチ(手袋)おとし」(ケニア) 「けんけんば遊び」(ブラジル)		
	4 体験をしたことをもとに話し合う。	
2	1 自分が遊んだことを振り返り作文メモにまとめる。 ア 遊び方 イ 日本の遊びと似ているところ ウ 日本の遊びと違うところ エ なぜ違うのか	○作文を書く視点を児童とともに確認し、自分の体験した遊びを振り返りながら作文メモを書くように助言する ○4つの視点(ア～エ)から作文メモが書けるように助言する。
	2 作文メモをグループ内で発表し、質問し合う。 ・友だちからの質問を作文メモに書き加える。	○作文メモをグループ内で発表したり質問に答えたりすることにより、体験したことを想起できるようにする。
	3 書き加えた作文メモをもとに作文を書く。	

1	1 グループで作文の発表会をし、聞いたことをメモする。	○友だちの作文の発表を聞き、自分の考えと違うところ、新しく発見したことなどをメモできるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ALTの〇〇さんといっしょに 〇〇さんの国の遊びをしよう！ </div>		
1	1 ALTの〇〇さんを紹介する。 2 ALTの〇〇さんから、自分の国の子どもたちの遊びを紹介してもらおう。 3 ALTの〇〇さんの国の遊びを体験する。 4 体験したことを話し合う。	○ 世界地図や国旗を使って、〇〇さんの出身国や国旗を確認する。 ○ 〇〇さんとは、事前打合わせを十分行い、日本の遊びと似ている遊び、及び全く異なる遊びを2つ～3つ紹介してもらおうようにする。 ○ 体験したことをふり返り、日本の遊びのよさや外国の遊びのよさについて感じとれるようにする。

Ⅲ 資 料

(1) 遊びの紹介

シンガポール 「じゃんけん」	竜・石・水 竜>水 竜は水を飲む 石>竜 石で竜をやっけられる 水>石 石は水にしずむ
中国 「信号ごっこ」	鬼が「信号」、他の人は「歩行者」 「青信号」信号方向に進める 「赤信号」すぐ止まる
ケニア 「手袋おとし」	ハンカチのかわりに手袋でハンカチ落としをする
ブラジル 「けんば遊び」	マス目が自分の陣地になっていく

(2) 作文メモ

作文メモを書こう

「いろいろなくりにのあそび」

ねん くみ なまえ

☆作文メモ

ア あそびかた

イ にているところ

ウ ちがうところ

エ なぜちがうのか、かんがえて みましよう

☆あそびをしてかんじたことをつたえよう